

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成26年4月17日（木）午後6時 ～ 8時30分
開 催 場 所	教育センター集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）渡辺龍也、北口良夫、高橋茂明、瀬口圭志、中村政義、 本間由美子、前田啓子、比留間毅浩、山田行雄 欠席者：（委員）鴻田臣代 一般参加者：5名 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	報告事項1 平成25年度第8回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について 報告事項2 武蔵村山市市民協働推進会議設置要綱について
議 題	議題1 平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 議題2 事業評価について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について 事業実施団体から事業の報告を行い、各委員から事業について質疑応答を行った。 議題2 事業評価について 次回の報告会終了後に評価を行う。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 △印：提案団体 ▲印：協働担当課 ◎印：一般参加者	報告事項1 平成25年度第8回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について  ● 報告の前に、平成26年4月1日付の人事異動に伴い、事務局職員の変更があったので紹介させていただきたい。また、委員の皆様についても、自己紹介させていただきたい。  -事務局自己紹介-  -委員自己紹介-  ● 事前に各委員に配布した平成25年度第8回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録については、修正等の有無を確認した後、ホームページ等で公開している。  報告事項2 武蔵村山市市民協働推進会議設置要綱について  ● -要綱第2条第2項第2号の変更について説明-  議題1 平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会及び評価等について  □ 議題1について、事務局から説明いただきたい。  ● -報告会の進め方について説明-

(平成25年度武蔵村山市協働事業提案制度実施事業報告会)

団体名：いつひよファミリー ～with 石田倫依

事業名：子育てサポートプロジェクト

-実施団体による報告-

質疑応答

- 定期的を実施する事業と不定期な事業があるが、区分の意図は。
- △ 定期的な事業は、子ども家庭支援センターで開催しているものである。不定期な事業については、他事業との兼ね合いや仕事の都合による。
- 市からの補助金は30万円だが、その範囲でこれだけの事業を行ったのか。
- △ 親子コミュニティ広場については、参加費を徴収しているので、それを資金として事業を行った。その他の事業については、補助金の範囲で行った。
- 補助と無関係のものについての記述は不要であり、参加料等の収入がある場合には明示すべきである。
- 事業の実施に携わる人数は。
- △ 48名が登録している。メンバーは子育て中の夫婦や、学生等である。メールで参加の可否を問い、動員人数は実施内容による。
- 一年間事業を行ってきて、団体として成長できたと感じる点は。
- △ 市と協力しながら事業を実施したことにより、周知方法が多様化し、広く知ってもらうことができたので、参加者が増えた。子育てに悩む親等、市民からの窓口的な存在として、信頼を得ることができたと感じている。
- 団体型で採択されているが、実質は協働型として実施したのか。
- △ 協働事業のノウハウがわからず、市と相談しながら事業を進めた。
- 昨年度のことを踏まえ、今年度は協働型として、更に成長していただきたい。
- 収支決算書で、当初は5千円の報償費で2回事業を行う予定だったものが、1万円の報償費で1回開催となっているが、その理由は何か。
- △ より質の高い子育て支援講座を行うため、報償費を増額し、1回の講座にした。
- 保険料について、当初は140人分見込んでいたものが83人に減っている。
- △ 参加者の実績によるものである。
- 参加人数の実績について、どう考えるか。
- △ 数字については予測が難しかったが、結果的には適正な参加人数であったと考えている。これ以上の参加人数になると、スタッフの目が届かない可能性があった。
- 自己評価の中に、情報交換や他部署との連携がうまくできなかったとあるが、これはどのようなことか。
- △ 協働推進課や子育て支援課と連携して事業を実施したが、情報伝達や連絡がスムーズにいかない部分があった。

団体名：特定非営利活動法人 むさしむらやま子ども劇場  
事業名：ちびっ子名人育成プロジェクト  
市担当課：文化振興課

-実施団体による報告-

#### 質疑応答

- プロによる指導はどれくらいあったのか。
- △ 全てプロによる指導を行った。当初の予定より2回多かったが、予算の範囲内で指導していただいた。
- けん玉やコマ回しの技術以外に、子供達の心の変化等はあったか。
- △ 上手な子が出来ない子に教えてあげるなど、年齢の垣根を越えて交流する場面が多く見られた。また、順番待ちの時には、上級生が下級生を優先してあげるようなこともあった。
- 自己評価の最後に記載している、将来に向けての工夫とは。
- △ 26年度が3年目の事業であり、4年目以降は本制度の採択を受けられない中で、いかに事業を継続していくかが課題である。できれば1年に1回でもいいから全小学校を訪問したいので、助成金を探すなどの工夫が必要である。
- 久しぶりに学校を訪問したことで盛り上がり再燃したという話があったが、下火になった時期もあったということか。
- △ 放課後子どもの教室の支援員からそのような報告があった。プロの訪問がなくなると少しずつ下火になってしまうが、プロが再訪問すると再燃する。再訪問の重要性を実感した。
- もともと再訪問する予定ではなかったか。
- △ 再訪問については、課題事項だった。
- 市民会館使用料は当初見込んでいなかったが、団体が費用を負担したのか。
- △ そのとおり。
- 収支決算書の備考欄に詳細を記載するべきである。
- 協働した市担当課からも意見を伺いたい。
- ▲ 放課後子ども教室で本事業を実施することにより、子ども達のコミュニケーション能力の向上や、異世代交流を図ることができ、非常に良い事業であった。支援員も積極的に参加し、自前で賞状等を作成してくれた。
- 来年度に向けた改善策について伺いたい。
- △ 1年目と2年目の違いは、支援員の対応が良くなったことである。3年目については、今後の継続性について検討していきたい。
- ▲ 本事業がある日は放課後子ども教室の利用者が増えるので、受け入れ体制をしっかりしていきたい。

団体名：立川青年会議所  
事業名：みんなで挑戦 未来の自分に自信と誇りを  
市担当課：スポーツ振興課

-実施団体による報告-

質疑応答

- 最高で何回跳べたのか。
- △ 118回である。
- ギネスに挑戦というのは、達成できるものだと思っていたのか。
- △ 高い目標であったが、目標に挑戦する過程が大切だと考えており、あえて大きな目標とした。
- 数字で表せる部分以外で、子ども達が成長したといえるものは何か。判断基準を教えてください。
- △ 自分の心の変化や成長できたと感じる点、自信を持ったことなどについて、子ども達にアンケートを行った。その結果を根拠としている。アンケートには、仲間との絆が強くなったなどの感想があった。
- なぜ全校で実施しなかったのか。
- △ PRは全校を対象に実施したが、学校の事情もあり、タイミングが合わなかった。練習会は他校でも実施した。
- ギネスに挑戦したのは3校のみか。
- △ ギネス認定員とのやり取りの中でルールが変更になり、3チームのみとなった。
- 一過性のイベントではなく、地域に根差した継続性が、まちづくりには必要である。今後も継続して事業を行っていくという思いはあるのか。
- △ 学校側は2月開催を希望しているが、団体の性質上、役員の任期が1月から12月なので、役員が変わったばかりでの開催は難しい。しかしながら、学校や保護者からは継続を求められているので、工夫して実施していきたい。
- しっかりと継続していただきたい。
- 収支決算書の中に、企画設営費という項目があるが、金額が突出している。これは何の金額なのか。
- △ ギネスの認定員に係る経費である。
- 練習はどのくらいしたのか。
- △ 1日1時間程度で週に3、4日行った。延べ50日程度練習した。
- 旅費交通費の決算額がとても高い。備考欄に詳細を記載するべきである。
- △ 8月に名栗へ行った際のバス代である。
- 当初の計画にはなかったのか。
- △ 計画はあったが、場所を決めていなかった。
- 自主財源がある団体なので、来年度も継続し、目標を持って実施していただきたい。

議題2 事業評価について

- 本日の報告に対する評価は各委員で行い、次回会議で残りの2団体の報告を受けた後、5団体分の評価を行う。

-異議なし-

	<p>その他</p> <p>● 次回会議は平成26年4月24日（木）午後6時から、教育センター集会室で開催する。</p>
--	--

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>( )</p>	<p>傍聴者： 5 人</p>
-------------------------	--	-----------------

<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： )</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： )</p>
--------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>生活環境部 協働推進課 (内線： 242 )</p>
--------------	-------------------------------

(日本工業規格A列4番)